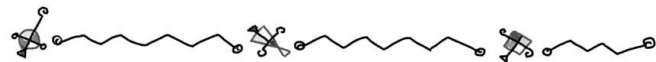


市民に開かれた議会へ改革を!

日本共産党市議団が各会派へ申し入れ

5月11日、日本共産党市議団は、各会派に「議会改革」へ右事項の申し入れを行いました。益田牧子、上野美恵子、那須円の3人の市議団で、市民に開かれた議会となり、市政のチェック機能や政策提言ができるよう「議会改革」に取組む決意です。

熊本市議会は、議長の下、議会運営委員会(議会活性化委員会)において、政務調査費の領収書添付・使途基準の明確化、懸案だった「議会広報」の今期からの発行など議会運営の改善を進めてきました。新しい議会の下で、市民の目線に立った議会改革に向けた更なる取組みが求められています。



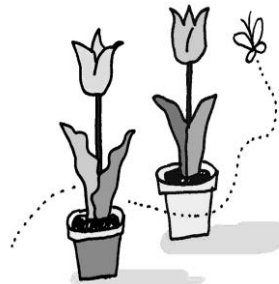
今後の市議会日程のお知らせ

5月17日 午前10時～議会運営の協議会

5月23日 午前10時～臨時議会

- * 6月議会の日程は、6月16日からの日程で調整中です。
- * 一般質問は、公約実現に向け上野美恵子議員が、行う予定です。市民の皆さんのご意見をお寄せ下さい。
- * 市民の皆さんの暮らしの相談は、いつでもお気軽にお寄せ下さい。

(市議会控え室 ☎328～2656)



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 751

2011年5月15日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

(熊本市議会改革への申し入れ事項)

- 1、市民に開かれ、市民の意見を反映する議会のために、新人議員の意見を尊重し、議員の総意に基づき「議会基本条例」を制定すること
- 2、議長・副議長の任期については、本来4年の任期であり、タライ回しは止めること、中立性を保つために、在職中は会派を離脱すること
- 3、請願・陳情の趣旨説明は、3名以内の人数制限は、止めること
- 4、「議会広報」発行は、6月議会からの実施開始に取り組むこと
- 5、議員報酬は、市民の理解が得られるように引き下げること
- 6、政務調査費については、会派交付も可能とし、使途基準については、「市民目線」で見直しを行うこと
- 7、費用弁償は廃止すること
- 8、議員の海外視察については、会派での実施分も含め中止すること
- 9、行政視察については、事前に十分調査・検討を行い、有効かつ効率的なものとし、「議会広報」で調査結果を報告すること
- 10、常任・特別委員会室においては、すべて禁煙とすること

【控え室から】 政党助成金は返上すべき

なすまどか

東日本大震災の復興・復旧の取り組みが始まっています。同時にその財源についても議論がなされ、消費税増税などの話も出ています。私は、消費税増税で被災者からも財源を負担させるやり方ではなく、復興国債を発行し244兆円にのぼる大企業の貯め込み金(内部留保)の活用こそ必要だと考えます。

ともあれ、復興財源の議論がなされているなか、日本共産党以外の主要な9政党は、4月20日に政党助成金の第1回分を受け取りました。各政党にわたる政党助成金は年間総額320億円。今回の大震災の被災者に対して、住宅の全壊・全焼・流失などに対して1世帯35万円の支給額が決められましたので、320億円は、その9万世帯分に相当します。

新聞各紙は批判的な記事を掲載しています。(政党助成金は国民1人当たり250円の税金が原資として使われている。つまり今回の大震災で被災した人たちが納めた税金も含まれている。それでも政党助成金をもらうつもりなのか「朝日新聞4日付「声」の欄など)。

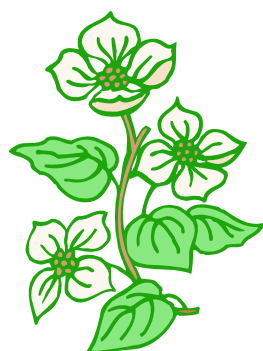
多くの国民が心を痛め、被災地への物心両面の支援に尽力しているときに、政党そのものが懐を痛めずに、国民への増税を検討していることに大きな怒りを感じます。国難のときです。各党はこれまでの姿勢を改めて助成金を返上し、政党助成金制度そのものの廃止に踏み出すべきです。



改選された市議会・新たな会派構成が決定

4月の市議選で改選された新たなメンバーによる議会が始動します。会派所属届けが出され、議会の新しい会派構成が決まりました。〈下表〉5月23日に開催される臨時議会で、議長、副議長、常任委員会・特別委員会・各種委員会の所属・委員長・副委員長などが決まります。日本共産党市議団は、引き続き交渉会派〈3名以上〉として、議会運営委員会にも所属し活動していきます。

新しい会派名・人数・会派役員は、右表のとおり



* 表の下の3名は個人会派（会派名は現時点で未定）

(会派名)	(役員)
日本共産党熊本市議団 3名	団長 益田 牧子 幹事長 上野 美恵子
自由民主党熊本市議団 18名	団長 江藤 正行 幹事長 税所 史熙 総務会長 牛嶋 弘 政調会長 落水 清弘
くまもと未来 10名	団長 下川 寛 副団長 白河部 貞志 幹事長 田中 誠一 総務会長 藤山 英美 政調会長 大石 浩文 政審会長 田尻 善裕
市民連合 8名	団長 田辺 正信 副団長 東 すみよ 幹事長 家入 安弘 副幹事長 上田 芳裕 総務局長 田尻 将博
公明党熊本市議団 7名	団長 鈴木 弘 政調会長 藤岡 照代
	古川 泰三
	北口 和皇
	高本 一臣

「駐輪まで30分待ち…」「バイク用のスペース確保を！」

駐輪スペースの確保で利便性の高い駐輪場を!

先日、市民の方から次のような相談を受けました。



午前10時ごろにバイクで来庁し、熊本市市庁舎駐車場（市役所横）を利用しようとしたところ、すでにバイク駐輪スペースがいっぱいになっており、30分以上待機した後やっと駐輪ができました。バイク用の駐輪スペースを確保するなどバイクでの来庁者が利用しやすいよう改善してほしい。



バイクでの来庁者～駐輪待ちの列ができていました

さっそく現場を見たところ、午前中の割と早い段階（10時前ごろ）でバイク用の駐輪スペースがいっぱいとなり、順番を待つバイク利用者が列を作っている状況も見受けられました。

昨年度、撤去された花畑別館裏駐輪場のバイク用代替スペースが十分に確保されていないことなどが原因だと考えられます。



臨時スペースの確保など改善を求める要請を行いました

1. 市役所周辺にバイク用の駐輪スペースを臨時的に確保し、駐輪待ちが生じないようにバイクによる来庁者の利便性向上を図ること。
2. 駐輪場の整備が整うまでは、辛島公園地下駐輪場など利用率の低い駐輪場の利活用を市職員が率先して行い、熊本市市庁舎駐車場（駐輪場ビル）は、市民が優先的に利用できるような改善を図ること。
3. 市営駐輪場の有料化については、自転車の利活用の推進さらには来庁舎や商店街利用者の利便性の向上の観点から中止すること。